

## 令和7年10月 斐伊川水系水質情報

令和7年10月(宍道湖20日・中海2日採水)							単位:mg/l(Chl-a: μg/l)			
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.1	△	平年並み	3.6	△	平年並み	5.2	△	平年並み
全窒素	上層	0.51	△	平年並み	0.40	○	良好(平年並み)	0.39	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0.036	△	平年並み	0.056	×	やや高い	0.048	△	平年並み
Chl-a	上層	18	△	平年並み	25	☆	かなり高い	16	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,020	△	平年並み	8,100	△	平年並み	7,550	△	平年並み
	下層	3,070	△	平年並み	16,400	△	平年並み	10,900	△	平年並み
溶存酸素	上層	8.1		やや低い	9.7		平年並み	10.3		平年並み
	下層	8.0		平年並み	0.8		やや低い	1.2		かなり低い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	5.3	下降	3.5	横ばい	4.7	横ばい
全窒素	上層	0.46	やや上昇	0.35	やや上昇	0.40	横ばい
全リン	上層	0.123	下降	0.049	やや上昇	0.059	やや下降

宍道湖の透明度は1.6mから2.1mと上昇し、良好。中海の透明度は2.5mから1.7mと下降し、やや悪い。米子湾の透明度は1.7mから1.6mと横ばいで、平年並みになっている。

### 【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

#### 1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値+標準偏差値 10年間平均値 平均値-標準偏差値	↑	△	<平年並み>
	↓	○	<良好> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	↓	◎	<やや低い> (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

#### 2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注)平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%